



ROPE ACCESS 株式会社
ロープアクセス
Company Guide





ロープアクセスで、できること

私たちは高所、難所での高所作業を行うロープアクセス技術の専門業者です。ロープアクセス技術を産業用に進化させ、安全性を保ちながらも、迅速であり省スペースでの作業を可能としています。

その汎用性は高く、構造物点検・補修、自然斜面調査など多岐にわたります。

目次

橋梁・水管橋点検	4	特定道路土工構造物点検・法面調査	8
----------	---	------------------	---



橋梁点検成果例	5	お見積りから成果納品の流れ	9
補修・施工業務	6	安全管理について	10
外壁施工	7	会社概要	11



— To peace of mind beyond that —

道路橋・水管橋点検

ロープアクセス技術による橋梁点検

ロープアクセス技術と橋梁点検の相性は抜群で、移動距離に制限がなく体一つ分のスペースさえあればどこにでも入ることができます。橋梁点検車のアームが届かない場所や入れないような狭い場所でも安全に作業することが可能です。

コンクリートのうきやボルトのゆるみ、鋼材の亀裂等、近接目視点検でなければ発見できない損傷を高い精度で確認することができます。

また、非破壊検査資格を持ったロープアクセス調査員による非破壊検査も承っております。



各種橋梁に対応

人道橋、水管橋などの調査はもちろんのこと、100m級のハイピア、100m級の主塔、幅員の大きな橋であっても安全性を損なうことはありません。

ほぼすべての橋梁形式に対応し、限られた作業時間の夜間作業も可能です。

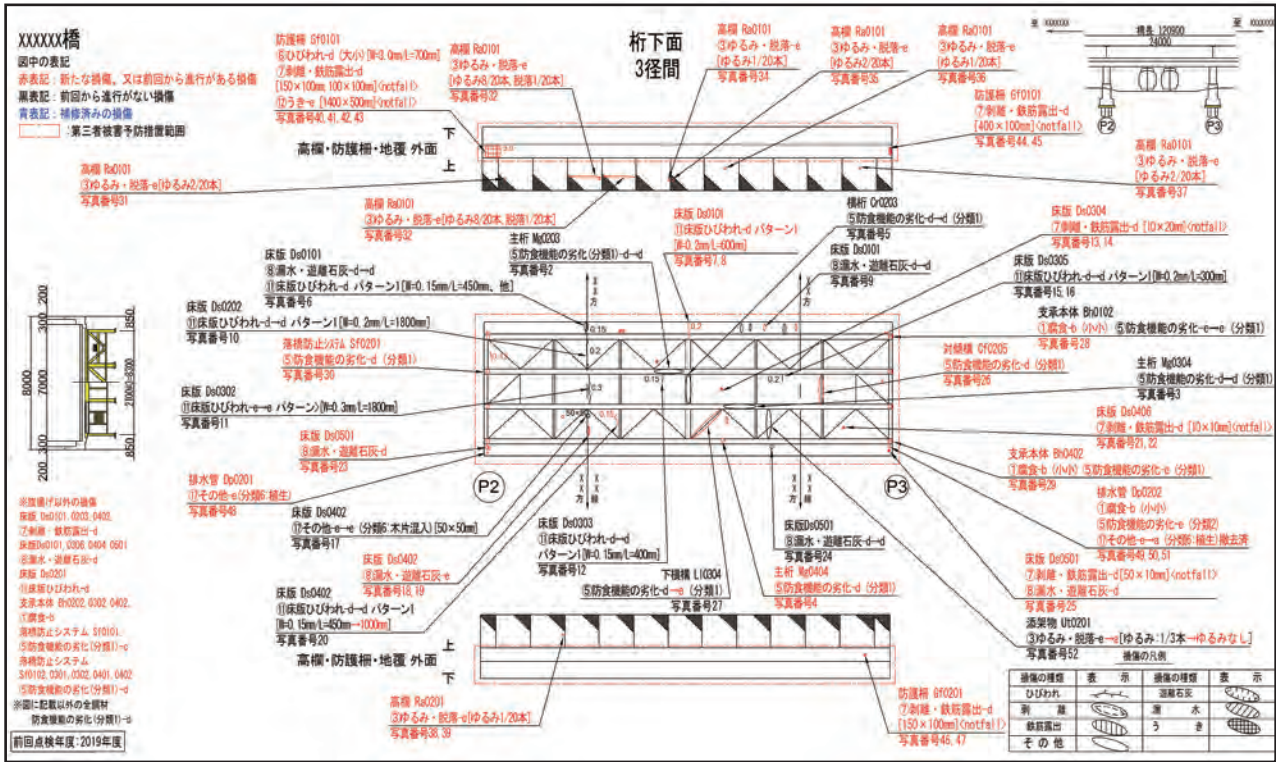
また、天候に左右されることが少なく、土砂降りや台風クラスの強風でなければ安全性に問題はありません。



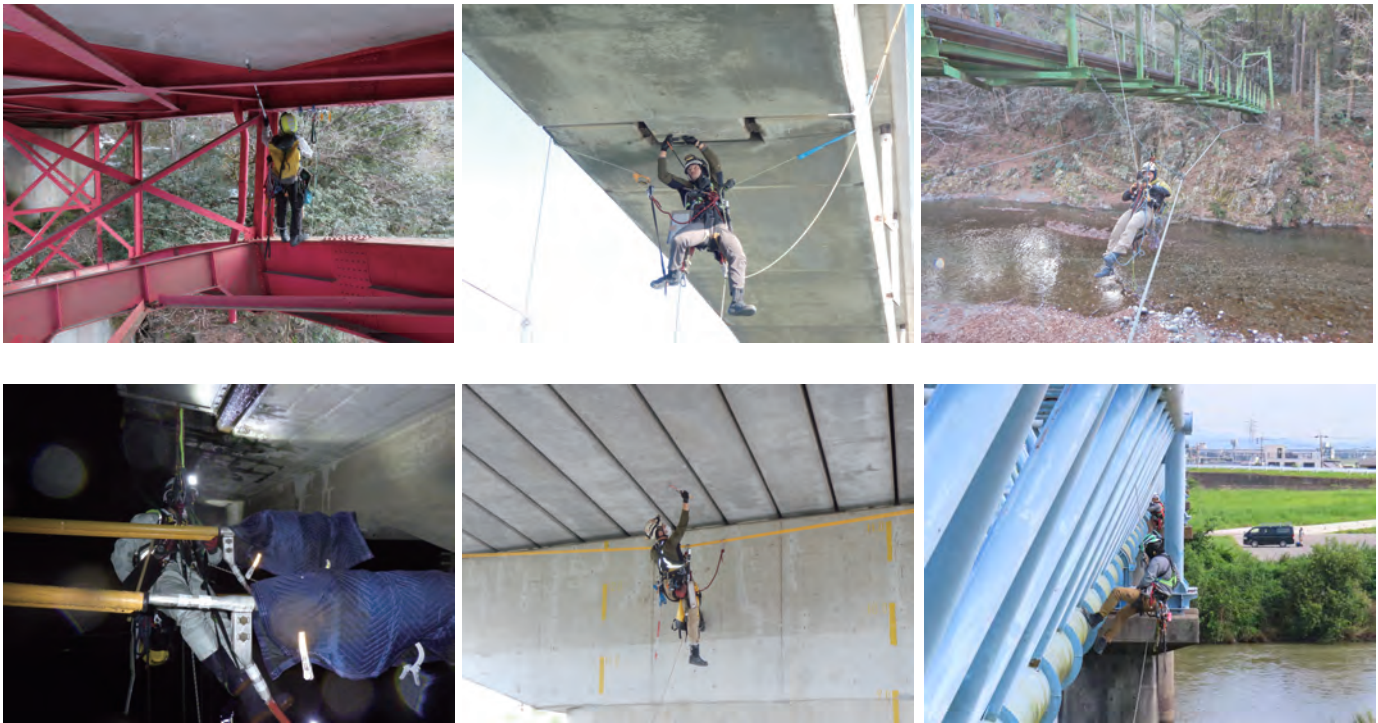
橋梁点検成果品

野帳渡しからCAD図作成まで、ご予算にあわせて柔軟に対応いたします。

基本的には国土交通省の定める道路橋定期点検要領に従って作成いたしますが、ご要望に応じて各自治体の点検基準での作成も承っております。



作業状況写真



橋梁補修・施工

ロープアクセス技術による橋梁補修

ロープアクセス技術による橋梁補修工事では足場を組む必要がなく、道路や歩道のスペースを占有することはありません。

即日で作業を開始できピンポイントで補修箇所へアクセスできる為、足場を設置する従来の補修工事よりも工期を短縮でき、低コスト化が可能です。



コア抜き・はつり

橋脚や橋台のコア抜き、はつり作業も足場の設置なしで行うことができます。

コアマシンや鉄筋探査機をロープに係留することでロープ上においても地上と同様に作業することができます。



外壁施工

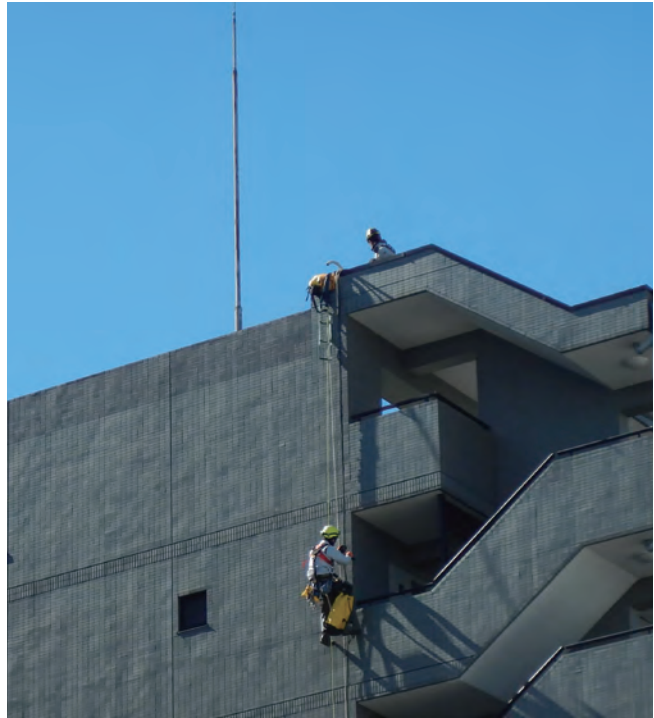
ロープアクセス技術による外壁施工

ロープアクセスを使用することで足場を必要としない外壁施工が可能です。

スポット的な作業であれば準備から施工完了までを1日で終了することもできます。

高所作業に必要な機材が少なく準備、撤収が容易なため作業日数を短縮でき、足場での作業に比べ低コストに施工を行うことが可能です。

また、足場を組むことができない狭い空間でも体が入るスペースさえあれば安全に効率的な作業を行うことが可能です。



対応可能な作業

基本的には足場で行っている作業であればロープアクセスでも同様に対応可能です。

屋上に強固な吊元がない場合でも工夫により安全に施工可能なケースがほとんどです。

- ・配管設置
- ・ダクト交換
- ・タイル修復
- ・コーキング

その他各種作業に対応可能です。施工可能かどうかご不明でしたらお気軽にお問い合わせください。

特定道路土工構造物・法面調査

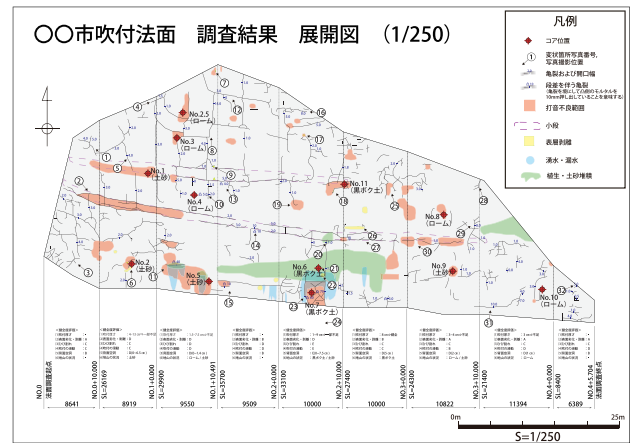
ロープアクセス技術による特定道路土工構造物点検

特定道路土工構造物及び法面は自然素材の土砂や岩石がその構成要素の大半を占めており、近年多発する自然災害の影響を大きく受けています。さらには土中を直接見ることができないなど、多くの不確実性を内包していることから、一般的には、表面的な変異を把握できたとしても、その変異がなぜ発生したのかという原因を直ちに特定することは困難です。



ロープアクセス技術ならば、法面小段からは近接できないような急斜面上でも近接、触診による変状の調査、打音による空洞調査、コア抜きによる地質状況の調査などを安全・確実に行うことができるため、精度の高い調査が可能です。

経験豊富な調査員が「道路土工構造物点検要領」にのっとり、確かな調査を行います。



その他業務

高所・難所でお困りのお仕事、お任せください

- ・ドローン回収
- ・ダム堤体調査
- ・植物調査
- ・風車点検
- ・風車補修
- ・アイマーク
- ・測量補助
- ・サージタンク調査
- ・看板広告設置
- ・看板設置
- ・猛禽類調査
- ・集水井調査

—— 高所作業でのお困りごと、ご相談がございましたらお気軽にご連絡ください ——

お見積もりから現場作業、成果納品までの流れ

仕事のご依頼から成果の納品までの流れをご紹介します。円滑な業務の為にお客様とのコミュニケーションを大切にしています。

**STEP
1**

お問い合わせ

あらかじめ現場の写真、図面、地図などのできる限りの情報をご用意いただけますとスムーズです。

**STEP
2**

お見積もり

電話やメールで業務の詳細を確認し、お見積もりを作成します。

予算/納品期日/納品仕様・内容/補修設計の有無/現場時期・場所/作業範囲・成果品スペックなど

**STEP
3**

ご契約

現場作業に向けて入念な打ち合わせを行います。

**STEP
4**

現場作業

特に時間のご指定がなければ9時～17時の間に作業を行います。打ち合わせと装備の点検を作業の前後に行います。

**STEP
5**

成果作成

打ち合わせの際にあらかじめ形式をご指定下さい。

野帳渡し/手書き清書/CAD損傷図/Excel/illustratorなど

**STEP
6**

成果納品

現場終了後～2週間程度を目安に納品します。

**STEP
7**

ご請求

打ち合わせの際に、あらかじめ請求方法をお知らせ下さい。

**STEP
8**

ご入金

特にご指定がなければ月末締め、翌月払いでお願いしています。

安全管理

2 点確保

2 点確保とは器具や支点、作業手順に常にバックアップを設けるロープアクセス技術の基本理念です。

強固な支点 2 つにロープを緊結し、複数の墜落防止器具を使用。更にヒューマンエラーをも想定したバックアップシステムを取り入れ安全性を極限まで高めています。

法令の遵守

株式会社ロープアクセスではロープ高所作業に関わる法令を遵守しています。全てのスタッフがロープ高所作業特別教育及びフルハーネス型墜落制止用器具特別教育を受講しています。法令に関わる資格に加え、ロープ作業に関わる各種資格を取得し高度な技術と安全性を担保しています。

使用機材

EN 規格に適合

株式会社ロープアクセスで高所作業に使用する資器材は、墜落防止用器具の規格に適合。さらに、より厳しいヨーロッパ規格である EN 規格にも全ての資器材が適合しています。具体的には、主な資器材であるロープは破断荷重 22KN(約 2200 kg) 以上です。



- ・ Petzl 社製フルボディハーネス
日本国内の「墜落制止用器具の規格」に適合。



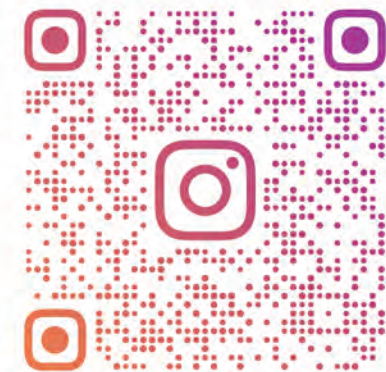
- ・ セミスタティックロープ
EN 企画に適合。耐荷重 22kn(約 2200kg) を使用。

<https://www.ropeaccess.co.jp>

WEBSITE

ウェブサイトではより詳細な情報を記載しています。

インスタグラムでも随時ロープアクセスならではの絶景を発信していますので是非、ご覧になってください。下記QRコードよりアクセスをお願いします！



ROPEACCESSSTAGRAM

株式会社ロープアクセス

TEL:0422-69-5736

E-MAIL:info@ropeaccess.co.jp

<https://www.ropeaccess.co.jp/>

東京本社 〒181-0016

東京都三鷹市深大寺3-1-9

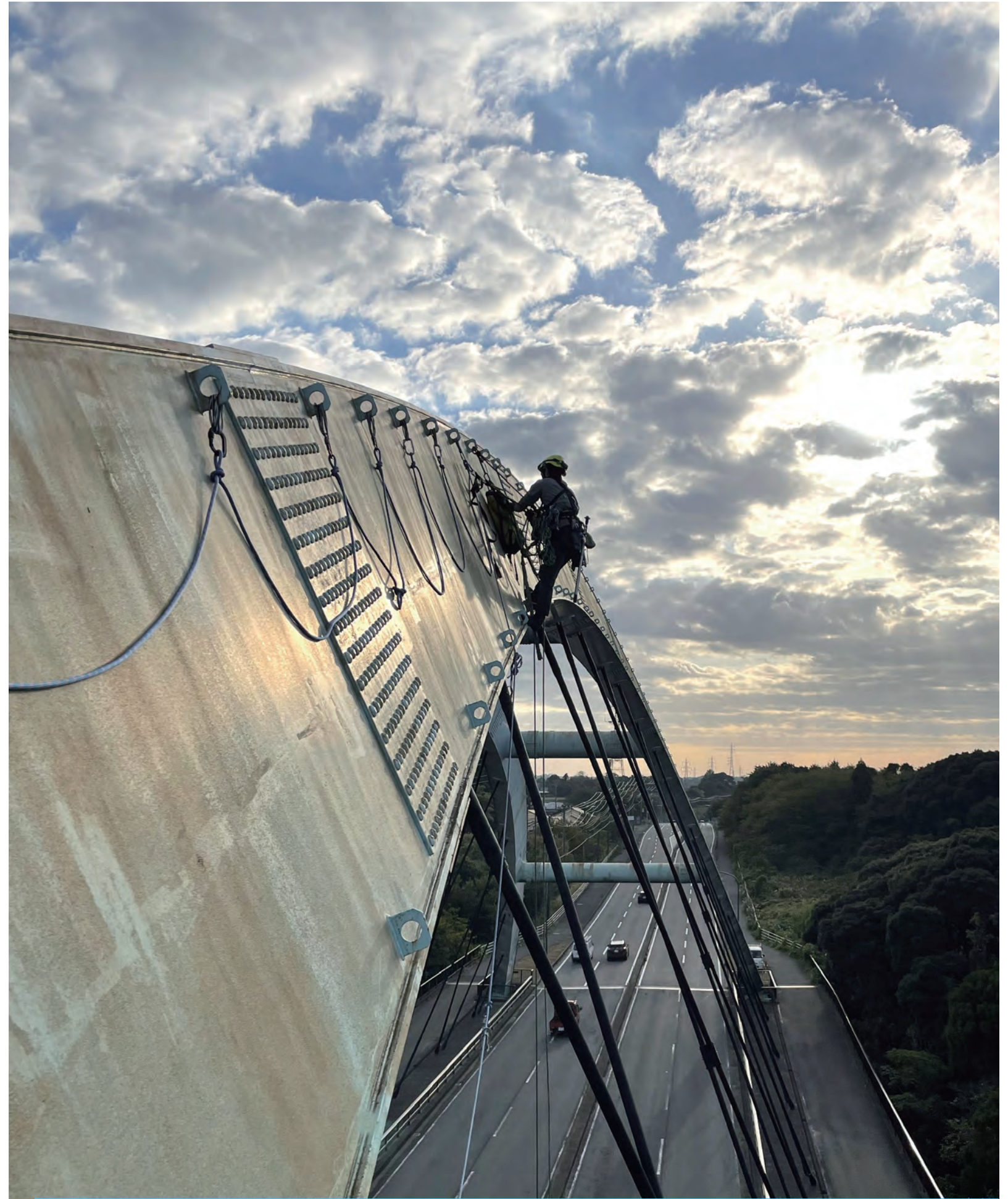
あきる野事務所 〒197-0831

東京都あきる野市下代継330-1

北海道旭川支店 〒078-8212

北海道旭川市二条通

19丁目379番地1-202



株式会社
ロープアクセス

TEL : 0422-69-5736

MAIL : info@ropeaccess.co.jp

<https://www.ropeaccess.co.jp/>

〒181-0016 東京都三鷹市深大寺 3-1-9